

幼 兒 の 教 育

昭 和 八 年 三 月

詫 び る 心

自分としては一ぱいに盡して来たつもりであるが、その自分の足りないために、缺けてゐたこと、誤つてゐたところも少なくなかつたであらう。

そのまた、一ぱいに盡して来たつもりが、その實、甚だたるみの多いものであつたではなからうか。自分の足りなさが、その足りない自分に分らないのは、さうすること出来難いとしても、もつと盡せば盡せるものを盡し盡さなかつたことが氣にかゝる。

よろこばれると濟まなくなる。禮をいはれると氣恥しくなる。うれしさも目出度さに上氣させられるやうな、三月末の賑かさ、はなやかさの後に、子ぎもには知らせずに、そつと獨りで詫びたい心が残る。